

1 次の(1)~(15)の各文について、( ① ) ~ ( ⑮ ) に入る語句等をそれぞれア~オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 四字熟語「起死回生」の「生」と同じ読みを含んだ熟語は ( ① ) である。

ア 芝生	イ 生涯	ウ 派生	エ 生粋	オ 誕生
------	------	------	------	------

(2) 次の俳句は、山口誓子が1932年(昭和7年)に刊行した句集「凍港」に収録されている作品である。空欄に当てはまる語は ( ② ) である。

学問の淋しさに堪え ( ) をつぐ

ア 月	イ 墨	ウ 雪	エ 山	オ 筆
-----	-----	-----	-----	-----

(3) ティグリス川とユーフラテス川の流域に成立した古代メソポタミア文明の特色を表した文として最も適切なものは ( ③ ) である。

ア くさび形文字が用いられ、「目には目を」等の原則を含んだ法典が制定された。
イ 河川の増水や収穫の時期を予測するため、1年を365日とする太陽暦が作られた。
ウ 王は占いによって政治を行い、占いの結果は亀甲や獣骨に記録された。
エ ポリスと呼ばれる都市国家において、パルテノン神殿やアポロン神殿が建設された。
オ モヘンジョ=ダロなど、上下水道や公衆浴場が整備された都市が建設された。

(4) G7サミット(主要国会議)に参加していない国は ( ④ ) である。

ア アメリカ	イ ドイツ	ウ フランス
エ イギリス	オ 中国	

(5) 「フィガロの結婚」や「アイネ クライネ ナハトムジーク」などの作品で知られる、現在のオーストリアを活動拠点としていた作曲家は ( ⑤ ) である。

ア モーツァルト	イ チャイコフスキー	ウ ショパン
エ ワグナー	オ ドビュッシー	

(6) 乳幼児の遊びの種類とその具体例の組合せとして間違っているものは ( ⑥ ) である。

ア 構成遊び-積み木	イ 運動遊び-ブランコ	ウ 受容遊び-折り紙
エ 感覚遊び-新聞破り	オ 想像遊び-ままごと	

(7) 打撲傷、捻挫などの応急手当の基本の一つとして ( ⑦ ) 法がある。これは、「安静にする」、「冷やす」、「圧迫する」、「(患部を心臓より) 高くあげる」という処置である。

ア SAVE	イ SAFE	ウ RIPE	エ RISE	オ RICE
--------	--------	--------	--------	--------

(8) パラリンピックの正式競技であり、赤、青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、ほかのボールに当てたりして、白い目標球にいかにか近づけるかを競う競技は ( ⑧ ) である。

ア ブラインドサッカー	イ ボッチャ	ウ セパタクロ
エ ゴールボール	オ フライングディスク	

(9) 次のうち、値が正になるものは ( ⑨ ) である。

ア $-2^2$	イ $(-3)^3$	ウ $\frac{1}{3} - \frac{1}{2}$	エ $2\sqrt{2} - \sqrt{7}$	オ $3 - \pi$
----------	------------	-------------------------------	--------------------------	-------------

(10) ジョーカーを除いた52枚のトランプからカードの1枚を引いたとき、そのカードが、ハートまたは絵札 ( J・O・K ) である確率は ( ⑩ ) である。

ア $\frac{1}{13}$	イ $\frac{3}{13}$	ウ $\frac{1}{4}$	エ $\frac{11}{26}$	オ $\frac{25}{52}$
------------------	------------------	-----------------	-------------------	-------------------

(11) 次の文は、伊豆半島の形成過程について述べたものである。文中の ( A ) ~ ( E ) に入る語句等の組合せとして正しいものは ( ⑪ ) である。

日本付近では ( A ) 枚のプレートが押し合っており、( B ) のプレートが ( C ) のプレートの下に沈み込んでいる。伊豆半島は ( D ) プレート上にあり、プレートの動きとともに長い年月をかけて ( E ) から接近してきて現在の姿になった。

ア	A : 4	B : 海	C : 陸	D : フィリピン海	E : 南
イ	A : 3	B : 陸	C : 海	D : フィリピン海	E : 西
ウ	A : 4	B : 陸	C : 海	D : 太平洋	E : 南
エ	A : 3	B : 海	C : 陸	D : 太平洋	E : 西
オ	A : 4	B : 海	C : 陸	D : 太平洋	E : 南

(12) 成人男性が一日に必要なエネルギーはおよそ 2400kcal とされている。これは、浴槽に 200 L の水が入っているとすると、この浴槽の水の温度を ( ⑫ ) °C 上昇させるのと同じエネルギーである。ただし、1.0g の水の温度を 1.0°C 上昇させるのに必要なエネルギーは 1.0kcal であり、水の密度は 1.0g/mL とする。なお、このエネルギーは水の温度を上昇させるためだけに使われるものとする。

ア 1.2	イ 6.0	ウ 8.3	エ 12.0	オ 15.0
-------	-------	-------	--------	--------

(13) 移动通信システム「5G」のGは ( ⑬ ) の略である。

ア グラフィック	イ ギガヘルツ	ウ グレード
エ グローバル	オ ジェネレーション	

(14) 次の説明が表す最も適切な英語は ( ⑭ ) である。

To use methods that do not harm the environment so that natural resources are still available in the future.

ア legacy	イ sustainability	ウ diversity
エ evidence	オ compliance	

(15) 次の電話での会話において、空欄に当てはまる最も適切なものは、( ⑮ ) である。

Staff : Hello. Thank you for calling. Shizuoka Hotel. How can I help you?  
Guest : Hello. I have reservation at your hotel. I have a quick question. (     )  
Staff : Yes. It leaves every 30 minutes.  
Guest : I see. Thank you very much.  
Staff : You're welcome. Have a nice day.

ア Do you have any non-smoking rooms?
イ Would you like to come on a different day?
ウ Can I check in then?
エ Is there a shuttle bus from Shizuoka station to your hotel?
オ How long does it take to get there?

2 次の(1)~(4)の各文について、( A )、( B )に入る語句の組合せとして、正しいものをそれぞれア~オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 日本国憲法 前文

日本国民は、( A )を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚しようとするのであつて、平和を愛する諸国民の( B )に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと思つた。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ア A：恒久の平和 B：公正と信義 | イ A：世界の平和 B：公平と正義 |
| ウ A：恒久の平和 B：努力と信義 | エ A：永久の平和 B：平等と   |
| オ A：永久の平和 B：公平と正義 |                   |

(2) 教育基本法 第5条

2 義務教育として行われる普通教育は、( A )を伸ばしつつ社会において自律的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な( B )を養うことを目的として行われるものとする。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ア A：個人の有する資質 B：能力 | イ A：各個人の有する能力 B：学力 |
| ウ A：各個人の能力 B：教養   | エ A：各個人の有する能力 B：資質 |
| オ A：各個人の能力 B：学力   |                    |

(3) 地方公務員法 第30条

全て職員は、全体の奉仕者として( A )のために勤務し、且つ、職務の遂行に当つては、( B )これに専念しなければならない。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| ア A：国民 B：誠心誠意   | イ A：公共の利益 B：全力を挙げて |
| ウ A：公共の利益 B：職務上 | エ A：公共の福祉 B：全力を挙げて |
| オ A：日本国民 B：全力で  |                    |

(4) 学校教育の情報化の推進に関する法律 第3条

学校教育の情報化の推進は、情報通信技術の特性を生かして、個々の児童生徒の能力、特性等に応じた教育、( A )のある教育(児童生徒の主体的な学習を促す教育をいう。)等が学校の教員による適切な指導を通じて行われることにより、各教科等の指導等において、情報及び情報手段を主体的に選択し、及びこれを( B )の体系的な育成その他の知識及び技能の習得等(心身の発達に応じて、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことをいう。)が効果的に図られるよう行わなければならない。

ア	A：自主性	B：活用する能力	イ	A：双方向性	B：利用する力
ウ	A：双方向性	B：活用する力	エ	A：継続性	B：利用する力
オ	A：多様性	B：理解する力			

3 「小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)」、「中学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)」、「高等学校学習指導要領(平成 30 年 3 月告示)」の総則では、教育課程の役割について、次のとおり述べられている。文中の( ㉔ )～( ㉚ )に入る語句を以下のア～コから一つずつ選び、記号で答えなさい。

各学校においては、児童(生徒)\*や学校、( ㉔ )の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を( ㉕ )な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を( ㉖ )してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な( ㉗ )な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(以下「カリキュラム・( ㉘ )」)という。)に努めるものとする。

(注)\* 小学校学習指導要領は児童、中学校・高等学校学習指導要領は生徒と表記している。

ア	家庭	イ	デザイン	ウ	協力的	エ	地域
オ	評価	カ	系統的、発展的	キ	人的又は物的	ク	把握
ケ	教科等横断的	コ	マネジメント				

4 「学校安全資料『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」(平成31年3月31日改訂2版発行 文部科学省)では、安全教育の進め方について、次の通り述べられている。文中の(25)～(28)に入る語句を以下のア～クから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 安全教育は、体育科・保健体育科、技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、  
道徳化及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう、(25) 計画的な指導が重要であり、  
そのためには、学校安全計画に適切かつ確実に位置付けるなど、(26) 必要がある。
- (27) ためには、危険予測の演習、視聴覚教材や資料の活用、地域や校内の安全マップづくり、学外の専門家による指導、避難訓練や応急手当のような実習、ロールプレイング等、様々な手法を適宜取り入れ、児童生徒等が安全上の課題について自ら考え、  
(28) につながるような工夫が必要である。

ア 学校教育活動全体を通じて	イ 全教職員が理解しておく	ウ 教科等に特化した
エ 自分の命を守る	オ 教職委員会が作成する	カ 主体的な行動
キ 安全教育の効果を高める	ク 集団としての判断	

5 次の文は、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（令和3年1月26日 中央教育審議会）」の一部である。文中の（㉑）～（㉓）に入る語句を以下のア～コから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 「令和の日本型学校教育」を構築し、すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なものである。我が国の学校教育におけるICTの活用が国際的に大きく後れをとってきた中で、（㉑）を実現し、（中略）これまでの実現とICTとを最適に組み合わせることで、これからの学校教育を大きく変化させ、様々な課題を解決し、教育の質につなげていくことが必要である。その際、（㉒）を意識し、効果検証・分析を適切に行うことが重要である。
- ICTが必要不可欠なツールであるということは、社会構造の変化に対応した教育の質の向上という文脈に位置づけられる。すなわち、子供たちの（㉓）が進む中で、個別最適な学びを実現する必要があること、情報化が加速度的に進む Society5.0 時代に向けて、情報活用能力など学習の基盤となる資質・能力を育む必要があるということ、少子高齢化、人口減少という我が国の人口構造の変化の中で、（㉒）や地域事情に関わらず学校教育の質を保障すること、災害や感染症等の発生などの緊急時にも教育活動の継続を可能とすること、教師の長時間勤務を解消し学校の（㉓）を実現することなど、これらすべての課題に対し、ICTの活用は極めて大きな役割を果たしうるものである。

ア 一斉授業	イ プログラミング教育	ウ GIGA スクール思想
エ PDCA サイクル	オ 個性化	カ 働き方改革
キ 地理的要因	ク 小数人学級	ケ 多様化
コ 心理的要因		

6 次の(1)~(3)の各問いに答えなさい。

(1) 次の各文は、西洋の教育史に関わる人物について述べたものである。文中の( ㉔ )、( ㉕ )に入る語句を以下のア~オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

○ コメニウスは、国土の平和のためには、全ての人が共通の知識を有して理解し合うことが必要だと考え、1658年に世界初の絵入り教科書「( ㉔ )」を著し、資格を通じて事物に対する認識を明確化することを試みた。

○ エレン・ケイは、1900年に著書「( ㉕ )」において、「教育は、子供の生命の自由な発展を助成し、自由な独立の個人に育て上げることを使命としなければならない」と主張した。

ア 大教授学	イ 人間の教育	ウ 児童の世紀
エ 一般教育学	オ 世界図絵	

(2) 次の表は、発達心理に関する人物について説明したものである。表中の( ㉖ )、( ㉗ )に入る人物を以下のア~オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

人物	説明
( ㉖ )	子供時代の教育は、発達を先回りし、自分の後ろに発達を従える教育のみが正しいと主張するとともに、子供の精神発達と「教授—学習」の関係について、発達の最近接領域という概念を提唱した。
( ㉗ )	心理社会的発達理論を提示し、八つの発達段階における発達課題と危機を設定した。青年期以前の段階における経験が、青年期に置ける自我同一性の確立に大きく影響を及ぼすと説いた。

ア エリクソン	イ モンテッソーリ	ウ ユング
エ ヴィゴツキー	オ レヴィン	

(3) 次の文は、カウンセリングについて述べたものである。文中の( ㉞ )に入る人物を以下のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

アメリカの心理学者( ㉞ )は、著書「クライアント中心療法」において、カウンセリング関係を発達させるために必要な環境について説明し、クライアントが自分で解決できる力を持っていることを尊重する非指示的療法を提唱した。

ア ギンズバーグ

イ ギルフォード

ウ オズボーン

エ ロジャーズ

オ ソーンダイク

Kyosai-guild.jp

- 7 「小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）」、「中学校学習指導要領（平成 29 年度 3 月告示）」、「高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示）」の総則では、児童（生徒）の発達の支援について、次のとおり述べられている。文中の（ ㉟ ）～（ ㊿ ）に入る語句を以下のア～クから一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ番号の（ ）には同じ語句が入る。

小学校（中学校）学習指導要領 第 1 章 総則 児童（生徒）の発達の支援（一部抜粋）

2 特別な配慮を必要とする児童（生徒）\*への指導

(1) 障害のある児童（生徒）などへの指導

（中略）

ウ 障害のある児童（生徒）に対して、通級による指導を行い、（ ㉟ ）を編成する場合には、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第 7 章に示す（ ㊿ ）の内容を参考とし、具体的な目標や内容を定め、指導を行うものとする。その際、効果的な指導が行われるよう、各教科等と通級による指導との関連を図るなど、教師間の連携に努めるものとする。

エ 障害のある児童（生徒）などについては、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で児童（生徒）への教育的支援を行うために、（ ㊿ ）を作成し活用することに努めるとともに、各教科等の指導に当たって、個々の児童（生徒）の実態を的確に把握し、（ ㊿ ）を作成し活用することに努めるものとする。（以下略）

（注）\*小学校学習指導要領は児童、中学校指導要領は生徒と表記している。

高等学校学習指導要領 第 1 章 総則 第 5 款 生徒の発達の支援（一部抜粋）

2 特別な配慮を必要とする生徒への指導

(1) 障害のある生徒などへの指導

（中略）

イ 障害のある生徒に対して、学校教育法施行規則第 140 条の規定に基づき、（ ㉟ ）を編成し、障害に応じた特別の指導（以下「通級による指導」という。）を行う場合には、学校教育法施行規則第 129 条の規定により定める現行の特別支援学校高等部学習指導要領第 6 章に示す（ ㊿ ）の内容を参考とし、具体的な目標や内容を定め、指導を行うものとする。その際、通級による指導が効果的に行われるよう、各教科・科目等と通級による指導の関連を図るなど、教師間の連携に努めるものとする。（中略）

ウ 障害のある生徒などについては、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で生徒への教育的支援を行うために、（ ㊿ ）を作成し活用することに努めるとともに、各教科・科目等の支援にあたって、個々の生徒の実態を的確に把握し、（ ㊿ ）を作成し活用することに努めるものとする。（以下略）

ア 特別の教育課程	イ 通級による教育課程	ウ 自立活動
エ 各段階の目標	オ 個別の教育支援計画	カ 指導の全体計画
キ 個別の指導計画	ク 年間指導計画	

8 次の文は、「児童生徒の自殺予防に係る取組について（通知）（令和3年6月23日づけ 文部科学省）」の一部である。文中の（㉓）～（㉖）に入る語句を以下のア～コの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ番号の（ ）には同じ語句が入る。

(1) 学校における（㉓）にむけた取組

各学校において、長期休業の開始前からアンケート調査、教育相談等を実施し、悩みや困難を抱える児童生徒の（㉓）に努めること。また、学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細やかな健康観察や健康相談の実施等により、児童生徒の状況を的確に把握し、スクールカウンセラー等による支援を行うなど、心の健康問題に適切に対応すること。

（中略）

加えて、自殺対策基本法第17条に定める「心の健康の保持に係る教育及び教育啓発」を推進するため、「各人がかけがえのない個人として共に尊重し合いながら生きていくことについての意識の涵養等に資する教育」、「困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身に付ける等のための教育」「（㉔）の出し方に関する教育」を含めた自殺予防教育、「心の健康の保持に係る教育」を実施するなどにより、児童生徒自身が心の危機に気づき、（㉕）に相談できる力を培うとともに、児童生徒が安心して（㉔）を出すことのできる環境の整備に努めること。

（中略）

(2) 保護者に対する家庭における（㉖）の促進

保護者に対して、長期休業期間中の家庭における児童生徒の（㉖）を行うよう促すこと。保護者が把握した児童生徒の悩みや変化については、積極的に学校に相談するよう、学校の相談窓口を周知しておくこと。（以下略）

ア 危機管理	イ 見守り	ウ レジリエンス	エ 身近な信頼できる大人
オ SOS	カ 友人・知人	キ 体調管理	ク ストレスマネジメント
ケ 早期発見	コ 相談機関		

9 次の(1)~(4)は、人権啓発に関する記述である。文中の(47)~(50)に入る語句等をそれぞれア~オから一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ番号の( )には同じ語句等が入る。

(1) 子供の基本的な人権を国際的に保証するために定められた「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」は、1989年に国連総会において採択され、日本は1990年に条約に署名し、1994年に批准を行った。この条約では子どもの権利を、(47)権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利の4つに分類している。

ア 自由である    イ 愛される    ウ 教育される    エ 生きる    オ 平等である

(2) 障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら富に生きる社会をつくることを目指して、障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)が平成25年6月に制定され、平成28年4月に施行、令和3年5月に改正された。この法律では、「不当な差別的取扱いの禁止」と「(48)の提供」が求められている。

ア 合理的対話    イ 合理的配慮    ウ 建設的対話    エ 合理的支援    オ 建設的配慮

(3) 「世界人権宣言」は、世界中の全ての人々の基本的な権利や自由を保障することを目的に、1948年(49)月10日に国際連合総会で採択され、これを記念して、「(49)月10日を世界人権デー」と制定した。日本では、(49)月4日から(49)月10日を「人権週間」とし、人権意識を高める活動が行われている。

ア 4                      イ 6                      ウ 8                      エ 10                      オ 12

(4) 「人権教育の指導方法等の在り方について[第3次とりまとめ](平成20年3月 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議)」の「第1章 学校教育における人権教育の改善・充実の基本的考え方」では、人権教育を通じて育てたい資質、能力として、(50)的側面、価値的・態度的側面、技能的側面の3つの側面を挙げている。

ア 知識                      イ 思考                      ウ 判断                      エ 表現                      オ 実践

正答番号

問題	正解番号	問題	正解番号
問題1	ウ	問題26	イ
問題2	イ	問題27	キ
問題3	ア	問題28	カ
問題4	オ	問題29	ウ
問題5	ア	問題30	工
問題6	ウ	問題31	ケ
問題7	オ	問題32	キ
問題8	イ	問題33	カ
問題9	工	問題34	オ
問題10	工	問題35	ウ
問題11	ア	問題36	工
問題12	工	問題37	ア
問題13	オ	問題38	工
問題14	イ	問題39	ア
問題15	工	問題40	ウ
問題16	ア	問題41	オ
問題17	工	問題42	キ
問題18	イ	問題43	ケ
問題19	ウ	問題44	オ
問題20	工	問題45	工
問題21	ケ	問題46	イ
問題22	オ	問題47	工
問題23	キ	問題48	イ
問題24	コ	問題49	オ
問題25	ア	問題50	ア